

## 下水道の日とは

1961年(昭和36年)、著しく遅れている下水道の全国的な普及を図る必要があることから、このアピールを全国的に展開するため「全国下水道促進デー」として始まりました。

2001年(平成13年)に、日本における近代下水道の基である旧下水道法が制定された1900年(明治33年)から100年を迎えたこと、21世紀のスタートの年にあたることなどから、より親しみのある名称への転換を図り「下水道の日」に変更されることになりました。

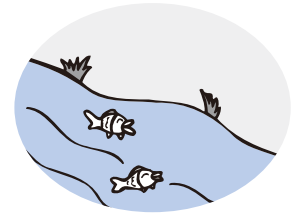
また、9月10日と定められたのは、下水道の大きな役割の一つである「雨水の排除」を念頭に、台風シーズンである210日を過ぎた220日目(立春から数えて)が適当であるとされたことによるものです。

## 下水道の早期接続

公共下水道水道は、皆さんにご利用して頂かなければ、地域の環境改善、河川の水質改善が達成されません。公共下水道を使えるようになった区域で、まだ接続されていない方は、一日でも早く公共下水道に接続をお願いします。

## 下水道を利用すると

- \*トイレが水洗化される
- \*生活環境を衛生的にできる
- \*川や海の水質保全
- \*大雨による浸水を防ぎます



## 排水設備の正しい使い方

- \*台所の油、ゴミなどを流さないで  
宅地内の排水管や下水道本管が詰まる恐れがあります。
- \*洗濯には無リン洗剤を  
合成洗剤に含まれるリンは、処理場でも取り除くことが困難です。
- \*アルコールやガソリン、灯油を流さないで  
揮発性の高い危険物を流すと下水道管の中で爆発したり、下水道管を損傷させます。
- \*水洗便所にはトイレトーパーを  
溶けないティッシュペーパー、紙オムツ、生理用品、タバコの吸殻などを流すと詰りの原因となります。

